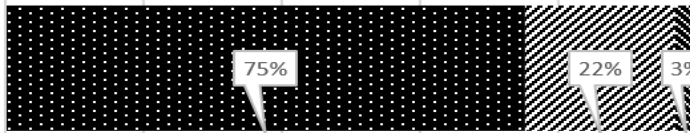


## 「だれもが生まれてきたことを 喜びあえる社会に」

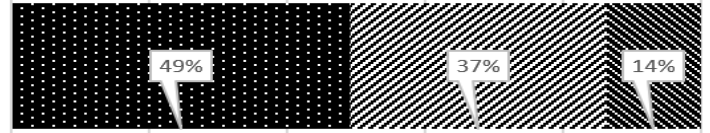


児童アンケートから

### 【自分や人を大切にしている】

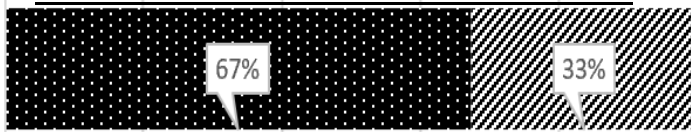


### 【自分には良いところがある】

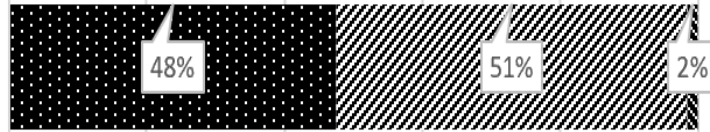


保護者アンケートから

### 【子どもが、自分や人を大切に できるように働きかけている】



### 【子どもの良いところを伸ばし たり、ほめたりしている。】



「人を大切にできる」人は、実は「自分を大切にしている」人ではないでしょうか。

人は、人と「同じ」ことで喜んだり、安心したりしています。反対に、人と「ちがう」となんだか、もやもやします。しかし、元々、人は一人一人「ちがう」もの・・・だから、自分とは「ちがう」ことをお互いに受け入れ、認め合える、そんな学校でありたいし、そんな社会であってほしいと願います。

『心』は誰にも見えないけれど、「こころづかい」は見える。『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。その気持ちをカタチに。」

東日本大震災以降、A CジャパンのCMで流れていたもので、詩人で作詞家の宮澤章二さんが作った「行為の意味」という詩の抜粋です。

私たちのまわりに目を向けたときに「男性だから」「女性だから」ということで生き方が制限されていないでしょうか。障害のある人が安心して道を歩けるでしょうか。「何かお手伝いできることがありますか。」と声をかけることができるでしょうか。生まれた場所によって、偏った見方をしていないでしょうか。

頭で分かっている、人の気持ちを考えずに、傷つけることを言ったり、悲しむようなような行動をしたり・・・その時々じっくり話をしている意識しているときはできている、忘れてしまいます。だからこそ、繰り返し繰り返し学習を積み上げていくのです。



行為の意味

宮澤章二

あなたの心はどんな形ですかと

人に聞かれても答えようがない

自分にも 他人にも心は見えない

けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど

心づかいは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど

思いやりは見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

「心」も「思い」も、初めて美しく生きる

それは 人が人として生きることだ

## 「助けてと言える力を」

児童アンケートから

【困りごとや不安があるときに先生やおうちの人に相談できる】

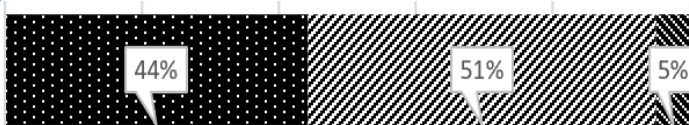


【人が困っているときは進んで助けている】

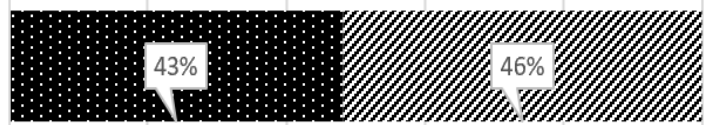


保護者アンケートから

【子どもたちの相談にのれている】



【人が困っていたら声をかけるように働きかけている】



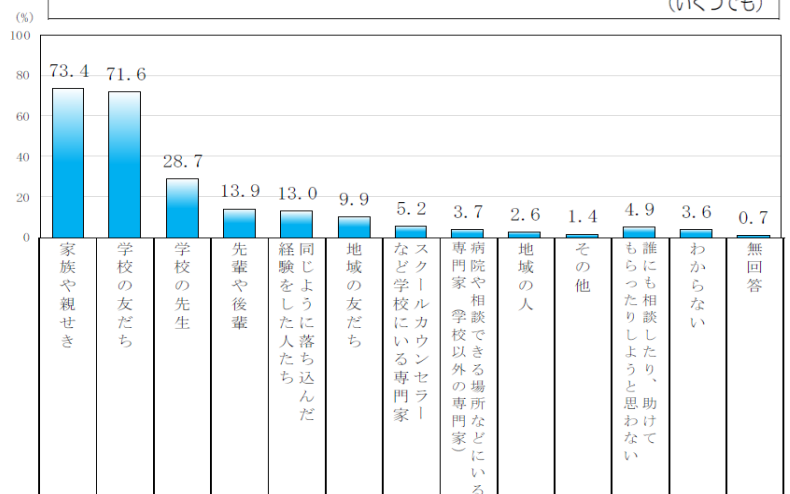
内閣府「こども・若者の意識と生活に関する調査」報告書  
(令和5年3月)内、「10歳～14歳対象調査」から

「人を頼る」ことは自分自身を守るために必要な力です。そのためには、「困っているときは、誰かに頼ってOK!」ということを子どもたちに伝え続けることが大切だと思います。

「人に迷惑をかけてはいけない」ということも大事ですが、同時に「人は、どうしたって人に迷惑をかけたり、心配をかけたり・・・でも、それはお互い様で、頼ったり頼られたりしながら人は生きているんだ」というメッセージを伝えていくことも大事なことだと思います。学校が、家庭が、社会が、「誰もが困っていることを打ち明けやすい環境」になるとよいと思います。



問22 あなたが、ものごとがうまくいかず落ち込んだときに、こういった人なら、相談したり、助けてもらったりしやすいと感じますか。あてはまるものすべてを選んでください。  
(いくつでも)



問23 「誰にも相談したり、助けてもらったりしようと思わない」の理由をお答えください。  
(いくつでも)

